

12府独自  
政策策

# 知事、国会議員らに提言



民主党の吉田治副幹事長  
(中央)に政策を提言する  
山田啓二知事(左)。右は  
北神圭朗衆院議員、衆議院

国の来年度予算編成作業が大詰めを迎えるのを前に、府は独自の取り組みや府の現状を盛り込んだ12項目の「政策提案」をまとめた。山田啓二知事が26日、東京を訪れ、府選出の与野党の国会議員や民主党幹部と会談。「地域主権」を掲げる新政権に対し、積極的に独自の政策を提言した。

「政策提案」で、府は京都舞鶴港と敦賀港(福井県)を一つのハブ(拠点)港として整備し、シベリア鉄道と連携させることで環境に優しい輸送のシステムを構築する計画を紹介し、太陽光発電設備や

内窓サッシなども対象にしたエコポイント制度を「京都モデル」として全国に拡大することなどを国に求めた。また、京都縦貫道路の早期完成や国立京都国際会館への大型多目的ホールの整備、厳しい経済状況を踏まえた中小企業向けの経済・雇用対策の充実などを要望した。

提言を受けた民主党の吉田治副幹事長は「ただの要望ではなく、具体的な政策提案があった。府政に基づき国家経営に提言してくれるのはありがたい」と評価した。